

報道関係者各位

DigitalBlast、富山大学・唐原一郎教授、蒲池浩之准教授の研究グループと 共同研究開始

重力発生装置「AMAZ（アマツ）」におけるコケ栽培実験の地上での適合性試験の実施へ

宇宙産業の活性化や宇宙業界の新事業創出をサポートする株式会社 DigitalBlast（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：堀口真吾、以下 DigitalBlast）は、国立学校法人富山大学（所在地：富山県富山市、学長：齋藤滋、以下富山大学）の学術研究部理学系・唐原一郎教授、蒲池浩之准教授の研究グループと重力発生装置「AMAZ（アマツ）」を用いたコケ栽培実験の地上での適合性試験に関する共同研究契約を締結し、研究を開始したことをお知らせいたします。



■共同研究の背景

近年、NASA によるアルテミス計画をはじめとした有人宇宙探査が盛り上がりを見せており、宇宙環境での食の確保や植物栽培に対する課題意識が高まっています。国際宇宙ステーション（ISS）等の微小重力環境が植物の育成に大きな影響を及ぼすことが明らかになっている一方で、月や火星といった低重力環境の植物育成への影響は現在十分に把握できていません。DigitalBlast はこの状況を踏まえ、月面での生態循環維持システム構築に向けたプロジェクト「NOAH」を立ち上げ、プロジェクトの第一歩の位置づけとして、月面と同じ地球の 6 分の 1 の重力を発生する重力発生装置「AMAZ（アマツ）」を開発し、2024 年の ISS への設置・運用を目指しています。

そこで、宇宙での植物実験の研究経験がある富山大学の唐原一郎教授、蒲池浩之准教授の協力のもと、宇宙実験を見据えた本装置の地上での適合性試験を実施いたします。

■共同研究の概要

ISS での植物実験の経験・知見を有する富山大学の唐原一郎教授、蒲池浩之准教授との研究の中で、完成した重力発生装置「AMAZ」のプロトタイプを用いて、コケ栽培実験の地上での適合性試験を行います。試験で得られたデータをもとに本装置の仕様調整を行い、宇宙実験に向けた本装置の最適化を行います。

■重力発生装置「AMAZ（アマツ）」について

本装置は、宇宙環境と月面重力における植物生理の研究を主目的としています。装置の一部を回転させることにより生じる遠心力を用いて、月面と同じ地球の 6 分の 1 の重力を再現します。発生させる重力は、月面と同じ地球の 6 分の 1 の重力の他、回転速度を変更することによりさまざまな重力環境を再現し、同時比較することが可能です。多様な重力下での栽培を通して、植物の重力応答に関する基礎データを取得します。栽培対象はコケ類などを想定しています。

■株式会社 DigitalBlast (デジタルブラスト) について

DigitalBlast は、“宇宙に価値を”提供するため、常に挑戦し、全ての行動と活動において価値を生み出す経営を実現します。日本の宇宙産業をより価値あるものにしていくためには、BtoG ビジネス（企業対行政間取引）に偏らない、多様な収益源の確保が必要です。事業戦略・デジタル・プロモーションなど多様なプロフェッショナルが在籍し、総合提案を強みとしています。クライアントの収益源を多様化し、新たな宇宙産業の価値確立に努めてまいります。

会社名 : 株式会社 DigitalBlast (英文表記 : DigitalBlast Inc.)

所在地 : 〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-7-9 神田司町 PREX7 階

代表者 : 代表取締役 CEO 堀口真吾

設立 : 2018 年 12 月

ホームページ : <https://digitalblast.co.jp/>

事業内容 : 企業変革に関する企画・設計及び支援、デジタル技術の開発及び支援、統合マーケティングサービス、デジタルマーケティングサービス、インターネット広告サービス、動画制作及び配信

【お問い合わせ先】

株式会社 DigitalBlast

担当 : 宮崎

TEL : 03-4500-2436

MAIL : pr@digitalblast.co.jp